

上下地域学校再配置住民説明会記録

◇午前の部◇

日 時：令和7年9月13日（土） 10：00～11：00

場 所：上下町民会館 2階大研修室

事 務局：杉本教育長 宮田部長 和田教育政策課長 津田学校教育課長
大垣学校教育課主幹 小林学事係長 児玉教育推進係長
江種主任主事

参加住民：21人

あいさつ&説明 35分

質疑応答 25分

◇司会 大垣主幹

◇教育長あいさつ

杉本教育長

◇資料説明

和田課長

津田課長

【質疑応答】○住民 ●市教委

○取組の方向性は賛成。

上下学園への移行があいまい。

小学生と中学生では建物の仕様が違う。

体育館も中学校仕様で難しい。

プールのことについては今から具体的に考えることが必要。

●義務教育学校になったときの懸念事項だととらえた。

まずは、小学校の再配置を優先する。

今後の検討事項については上下地域学校再配置推進委員会で検討していく。

義務教育学校になった場合の校舎の仕様についても検討していく。

●義務教育学校を見通して進めてほしいというご意見もわかる。

しかし義務教育学校を設置するまでの計画を完全なものにしてからの再配置

スタートになると時間を要する。

確実に小学校を再配置したい。

義務教育学校になるまで協議は継続する。しっかり審議していく。

○メリットについてスライド5で伝統文化の継承と記載あり。

2校の太鼓はどうなるのか？

実際には2つの太鼓を教えるのは難しいのでは。

一つは消えるのではないか。

アンケート実施以前に各PTAの考えを聞く会でもこの意見は出ていた。

昔の統廃合のときにも先輩から対処について聞いたことがある。

●太鼓については意見をいただいている。

地域・保護者・子どもの声をきいていく。指導者の意見も聞きたい。

上下地域学校再配置推進委員会でも意見を聞いて進めていく。

○義務教育学校の質問が出たと思うが、今現在上下中の入口は小学生が通るには危険である。検討いただきたい。

●以前も意見をいただいた。

J Rとの協議も必要。

電車の時刻 7時台1本、15時台2本 計3本が通過する。

PTAとも協議して人を配置する等検討したい。

以上

◇午後の部◇

日 時：令和7年9月13日（土） 13：30～14：45

場 所：上下町民会館 2階大研修室

事 務 局：杉本教育長 宮田部長 和田教育政策課長 津田学校教育課長
大垣学校教育課主幹 小林学事係長 児玉教育推進係長
江種主任主事

参加住民：21人

あいさつ&説明 35分

質疑応答 40分

◇司会 大垣主幹

◇教育長あいさつ
杉本教育長

◇資料説明
和田課長
津田課長

【質疑応答】○住民 ●市教委

○小学校の統合に反対はない。

ただし、義務教育学校にする想定で進んでいるが、いいことばかりではない。

デメリットも必ずある。住民の合意も大切にしてほしい。

地域住民の合意形成が取れてからにしてほしい。

みんなが理解してからにしてほしい。

拙速すぎる。義務教育学校への移行は合意して納得してから進めてほしい。

●上下地域学校再配置推進委員会で義務教育学校についても協議していく。

○議会で議案として出されるのは、小学校まででないといけないのか。

●12月議会は小学校の再配置までを決定する。

義務教育学校への移行は、府中市教育委員会の教育施策として進めていく。

府中市は府中学園と府中明郷学園が義務教育学校として取組を進めている。

各学園の形、地域の特色を活かした取り組みが進められている。

子どもの数が少ないからではなく、子どもが力をつけるための義務教育学校という形となる。推進委員会を中心に、専門家を招聘して研修会を行うなど、十分に保護者、地域住民の理解を深めながら進めていきたい。

○今後の学校の在り方について、再配置推進委員会でソフト・ハード面の両面について討議すると思うが、再配置推進委員会の内容を情報公開してほしい。市民の方にオープンにさせていただき、透明性をもって伝えていただきたい。

○ホームページでは高齢者は見ない。

回覧板や広報誌へ掲載してほしい。回覧板は100%実行してほしい。

●情報を伝えることは大切。しっかり考えてやっていきたい。
教育委員会として情報発信をしていきたい。

○前会長（北部町内会連合会）と保護者代表とで要望書を出した。

全町内会長を招集して会議を開催した。

北部連合会としては教育の充実のためにはやむを得ないと判断している。

今の流れを支持している。保護者代表と連携している。

学校だけの問題ではないので、学校以外の諸問題を提起しながら地域の活性化に行政も後押しをいただきたい。

○複式の解消につながるので賛成。

上2人は上下北小に通っている。教員の確保についてわからないことがある。
教員の確保にも注力してほしい。再配置により教員はどのようになるのか。

●広島県教育委員会とも連携しているが、なかなかフルタイムで働いてくださる方を見つけることは難しい。学校と教委と風通しのよい職場づくりを目指してやっている。

●教職員の数はクラス数で決まっているが、市費による教員を配置してやっている場合もある。再配置の際には市として出来ることを考え適切に対処したい。

○学校の先生の数について、8ページに令和9年度に統合した場合、統合加配で教員が一人増えるとあり、複式が解消されるとあるが、複式は人数が少ないからではないのか。

●基準は1年生を含む場合は8名以下の場合は複式となる。

3・4年生は16人以下。この場合は、1人の先生が2学年みることになる
統合加配は広島県教育委員会の制度。前の年に加配をつけるというもの。8年度に加配を上下南と北に各1人ずつ加配できるが、必ずしもつくわけではない。広島県教育委員会にお願いしていくところ。各学年の学習ができるように複式を解消するもの。統合加配は統合する場合に、統合する前の年につけるもの。

○統合加配は前年度のみとのことだが、再配置の初年度も問題が多いと思う。県教委にそういった制度はないのか。

●持ち合わせた資料にはないが、再度広島県教育委員会へ確認する。

再配置初年度の教員加配について確認

再配置初年度も統合加配は対象となる。よって、令和8年度及び令和9年度が統合加配の対象となる。(令和7年度時点の制度)

以上